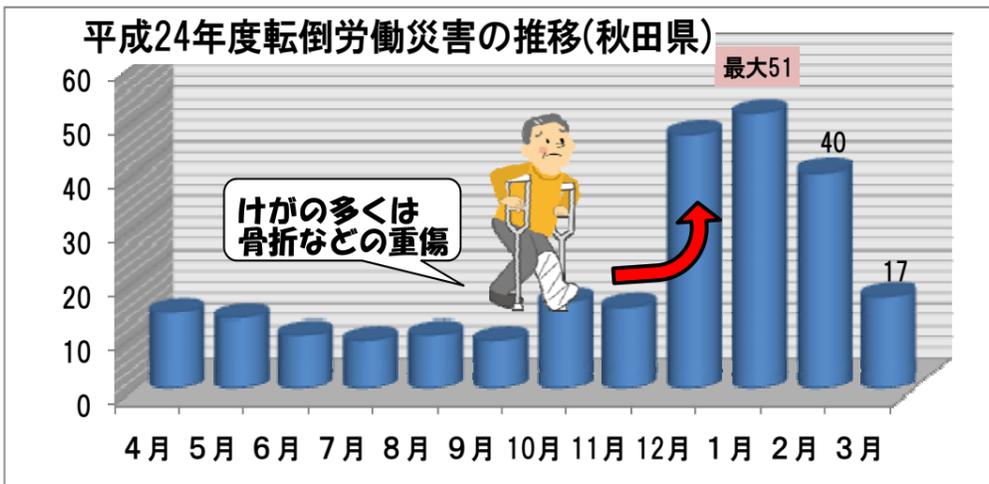


冬季の転倒災害を防止しよう！

秋田の冬は
油断大敵！



12月から3月は
転倒による労働災害が
多発します。



1 危険な場所を知り予防しよう

●過去の転倒災害から見た、多発場所は・・・

多くの人が通って雪が踏み固められた場所や除雪機械の通った路面は滑りやすくなります。

特に、

- ・ 営業車や従業員用駐車場から事務所・作業場までの路面。
- ・ 事務所・作業場の出入口、段差・スロープなど。

●スベリやすい場所では・・・

除雪、融雪、砂敷き、マット、照明設置、注意表示など、可能な範囲で転倒災害防止対策を行いましょ。

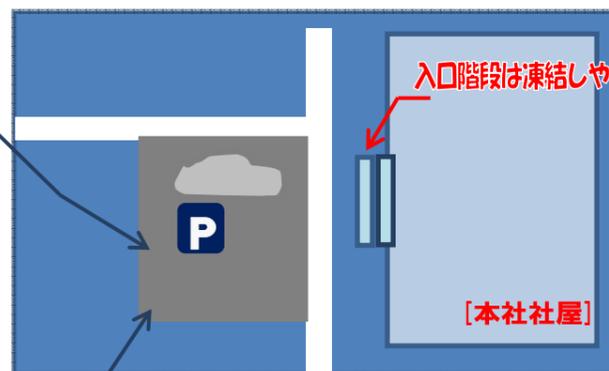
危険マップを
作ってみよう

例：自社周辺のマップを作成し、
凍結時は掲示板を立てます

除雪後、除雪機械跡が滑り
やすいので注意！

本日、凍結
足元注意！！

凍結時滑りやすい！危険！



2 正しく靴を選び 意識して歩こう

●靴を選ぼう

冬靴といっても全く滑らない靴はありません。しかし、滑りやすい靴はあります。防滑性能を強調した靴底にもいくつかのタイプがあります。購入時には、お店で、普段歩く路面状況との適性についてアドバイスを聞くことも大切です。

●歩き方を考えよう

急ぎ足やポケットハンド、両手で荷物を抱えての歩行はとても危険。「滑るかも知れない」という意識こそが、最強の防滑性能です。

3 気象状況と転倒の関係に注意しよう

冬季の気象と転倒の注意点

- ・ 雪の積り初めは、気持ちや靴の準備ができていない
- ・ 降雪量の多い日の朝、除雪後の駐車場や路面
- ・ 気温がプラスとマイナスを繰り返す日
- ・ 積雪があるのに雨が降った後
- ・ 積雪なくなった春先の新たな降雪

●路面が凍結する典型パターンは？

日中に気温がプラスになり、夜間や翌朝に冷え込んだときは要注意。うっすら積雪が被れば、なお危険。

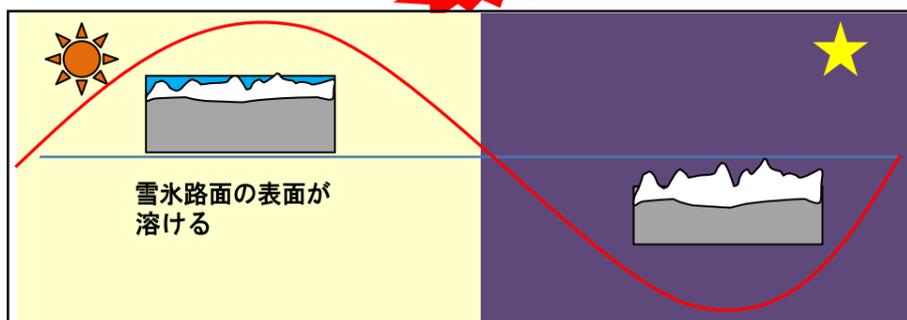


冬の靴(靴底)のパターンは・・・

- | | | | |
|--|------------|-------------------------------|-----------------------------|
| | ①金属ピンタイプ | ○アイスパーンに強い | ✕床タイルでは滑りやすい
摩耗しやすい |
| | ②深い溝タイプ | ○湿雪でのグリップ力強い | ✕アイスパーンで滑る |
| | ③柔らかいゴムタイプ | ○スタッドレスタイヤの
効能あり | ✕経年劣化のリスクが
ある |
| | ④滑り止め配合ゴム | ○ガラス繊維・アルミ粒子・
セラミックなどは効果あり | ✕配合材により大差
購入時には分から
ない |

※転倒災害防止プロジェクトチーム「滑りにくい靴モニター結果」より

マイナス2℃ 前後は 注意！



秋田労働局・転倒災害防止プロジェクトチーム